

小さな施設の 3年目の取組み ～次の一歩へ～

有限会社 桃李
グループホームくもじ

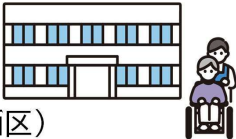
施設概要

グループホームくもじ
地域密着型認知症型
共同生活介護
定員 18床
(2ユニット)
スタッフ 14名



系列施設

グループホームつぶら	27床(宗像市)
サービス付き高齢者住宅ゆとりの里	20床(宗像市)
リハデイオレンジ	(遠賀郡遠賀町)
リハデイ吉木	(遠賀郡岡垣町)
放課後デイサービスごえん中間	(中間市)
放課後デイサービスごえん黒崎	(北九州市八幡西区)



今年度の変化

■スタッフの人数がさらに減少
他施設からの応援やタイミーを頼んでいる状況

■会社全体にノーリフティング委員会設立

■会社内にヘルスケア部門設立

■スタンディングリフトHug導入、機械浴槽設置

推進チームは
初年度から
同じメンバーで
取り組んでいます。




くもじから会社全体へ

くもじだけで2年間取り組んできたノーリフティングケア
だったが会社全体に広めていこうと言う事で
今年度ノーリフティング委員会が設立

しかし…

くもじ以外はノーリフティングケアの知識なし
入所系・通所系、高齢者部門・障がい部門と
事業形態も様々

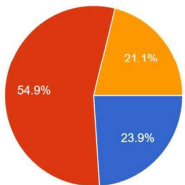
まずは、社内全員にノーリフティングケアについて
アンケート調査を実施



7施設 71名が回答
業務内容:介護/指導員・看護・リハ・運転・生活相談員/児童発達管理
施設管理者・役員

アンケート結果

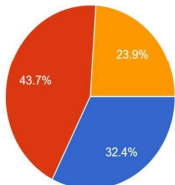
「身体を痛めそう」と感じる場面がありますか？
71件の回答



● 頻繁にある
● 時々ある
● ない

くもじスタッフの回答も含まれています

ノーリフティングケアという考え方について知っていますか？
71件の回答



● よく知っている
● 聞いたことはある
● 知らない

記述意見



福祉用具を使った事がないので、どんな種類があるかわからないし、使い方もわからない。利用者さんにとって楽なのか知り得ない。

スタッフ・利用者さんお互いの身体を痛めないか心配。福祉用具を使用するにあたり、正しい方法を周知できるか不安。



委員会には抱えずに移乗する方法を教えてください。実介助動画や実地研修をしてほしい。

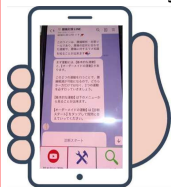


健康管理

今年度、社内にヘルスケア部門が設立



専門スタッフがスタッフ全員1人ずつに健康調査を行いそれぞれに合った運動や体操を教えてください



LINEで腰痛の症状に合わせた運動や腰痛に対する豆知識を知ることができる

定期的なアンケート調査を行って来ている。腰痛リスクの高いスタッフには個別の対応や、スタッフが取り組みやすい体操方法、掲示の仕方などを推進チームと一緒に考え実施している。

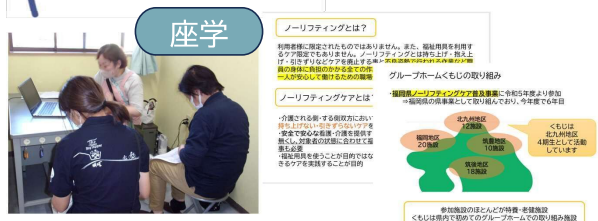


日中スタッフがいる事が多いリビングに体操方法を掲示



今後はアンパサンドさんの「マルボスメジャー」を使用し細かな計測を行っていく予定

学習会開催



座学

ノーリフティングとは？

利用者に負担をかけることなく、また、職員負担を軽減するケア方法でもあります。ノーリフティングとは持ち上げ、押上げ、引くなど、力を使うことなく、利用者の身体に負担をかけることなく、安全にケアを行うことです。

ノーリフティングケアとは？

「介護される側」する側両方に正しい姿勢・動作を指導し、安全にケアを行うことです。

グループホームくもじの取り組み

グループホームくもじの取り組み

グループホームくもじの取り組み

グループホームくもじの取り組み

グループホームくもじの取り組み

グループホームくもじの取り組み

実践



スライディングボード「つばさ」の使いやすさに驚き

福祉用具が揃っているくもじにて開催

対象施設6施設にスタッフ1名ずつの参加促すも、スタッフ不足の為2施設のみの参加

参加者からは好評

事業所が北九州・中間・遠賀・宗像と点在しており参加が難しいとの声があった。今後は出張研修も予定している



福祉用具

スタンディングリフトHug導入



大柄な男性の為Hugが大活躍しています。

個別プランに入れておりケアの統一は出来ている。

スタッフからは

もうHugがない移乗は考えられない



との意見も

しかし、Hugでは対応できなかった例もあり上肢の動きなどには問題なかったが、認知症状による理解力の低下があり、使用中に手を離してしまう・・・スライディングボード使用しスタッフ2名対応する

浴室の改修完了



改修前の様子
大きな浴槽1つで
浴槽に浸かれない方も



特に冬場はかけ湯の為
浴槽のお湯を洗面器で
何度もすくう事が
スタッフの負担になっていた



昨年度から行っていた浴室の
改修が終了
これまでシャワー浴だった方
も浴槽に浸かれるようになった。

今年度は見守り機器(眠リスキャン)導入や
対象利用者さんがいない為
床走行式リフトの購入は、次年度に見送りへ…
看取り介護を行っており、一時的にリフトが
必要な状況もあったので今後の導入は必要と考える。

次年度の目標

今年度に引き続き、社内全体にノーリフティングケアを
浸透させていく。

現在、施設のホームページを作成中。ホームページにて
ノーリフティングケアの取組み紹介を載せ、SNSの活用
も行っていく予定。並行し実習施設としても受け入れ
開始予定である。

➡ 人手不足の解消に期待

ヘルスケア部門と連携し、働きやすい職場づくりを目指す。

リフトの必要性を伝え、導入を目指す。

今年度まとめ

- ◆ くもじ内のみでの取組みだったノーリフティングケアを
社内に広める第一段階がスタートした。
- ◆ ヘルスケア部門と連携し、スタッフの健康管理を細かく
行えるようになった。
- ◆ 福祉用具が充実してきた事で、「抱え上げない介護」を
基本として行う意識改革ができています。

人手不足が続く中
継続して取り組み
くもじらしく
ステップアップしている



おわりに

生産性向上の取組みの一環として
社長からの呼びかけにより
社内スタッフほぼ全員に
昨年のくもじの発表動画を視聴してもらった。



感想



ノーリフティングケアは抱え上げない介助の事だけ
だと思っていたが、リスクマネジメントや福祉用具
の管理は業務の効率化にも繋がると感じた。

自分たちの施設でもノーリフティングケア推
進事業にチャレンジしてみたい。

